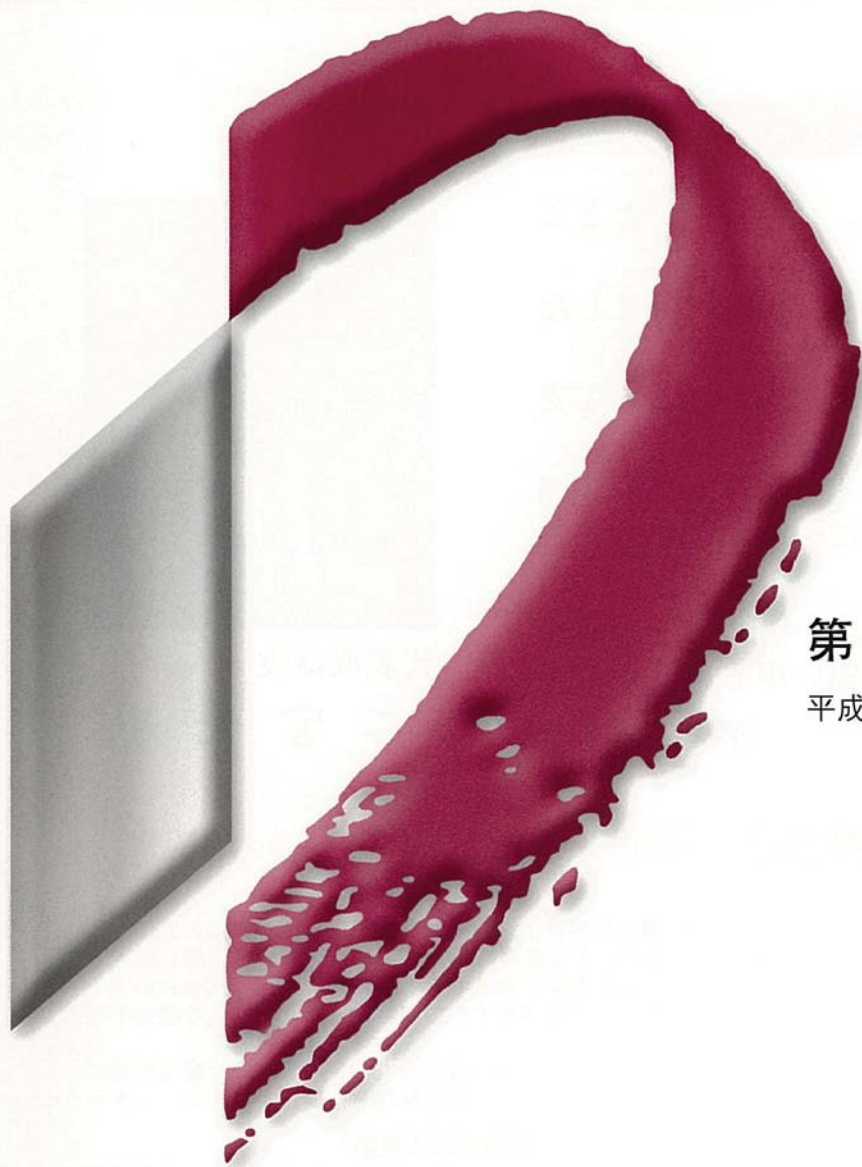




第65期報告書

平成22年4月1日～平成23年3月31日

ダイソーケミックス株式会社

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ご清祥のこととご拝察申し上げます。

本年3月の東日本大震災により、被災されました皆様には心からお見舞い申し上げます。

平素は、当社事業につきまして、あたたかいご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第65期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の事業の概況につきまして、ここにご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月



代表取締役

二宮 榮規

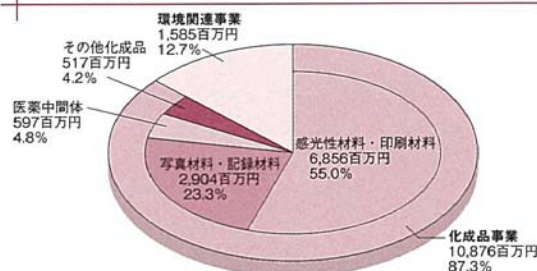
事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新興国を中心とした好調な海外経済を背景に、緩やかな回復傾向にありましたが、中東・北アフリカ情勢の混乱や、平成23年3月に起きた東日本大震災の影響により、先行き不透明な状況となりました。当社グループにおきましても、東日本大震災により、当社連結子会社である岩手ケミカル株式会社の工場建屋および設備が全壊となり、また同社に保管しておりました原料および製品をすべて廃棄するなど、甚大な被害を受けました。

このような環境のもとで当社グループは、販売の拡充やコスト削減に全力をあげるとともに、経営資源を研究開発に重点的に投入し、次世代対応の感光性材料をはじめ、フラットパネルディスプレイ周辺材料、機能性材料、プリンター用記録材料、医薬中間体の新製品開発、廃棄物処理の特殊技術開発などに積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、第2四半期以降、全体に需要の調整局面が見られ伸び悩みましたが前連結会計年度比1.0%増の124億61百万円となりました。経常損失は、第2四半期以降の売上高減少、環境関連事業における岸和田工場の償却費の負担が大きくなり、9億37百万円（前連結会計年度7億75百万円の損失）となりました。当期純損失は、東日本大震災の影響や連結子会社である日本エコロジー株式会社大阪工場の設備を移設および撤去したことなどにより特別損失7億9百万円を計上したことから、15億86百万円（前連結会計年度8億74百万円の損失）となりました。

売上高構成比(連結)



事業別セグメント

【化成品事業】

当事業の売上高は、前連結会計年度比0.2%増の108億76百万円となりました。

1. 感光性材料及び印刷材料

半導体用感光性材料につきましては、第2四半期以降半導体市況は調整局面となりましたが、i線用材料および次世代感光性材料の販売数量、売上高が増加いたしました。

液晶用感光性材料につきましては、販売数量が減少し、価格も下落したことにより売上高が減少いたしました。

この結果、感光性材料及び印刷材料の売上高は、前連結会計年度比7.1%増の68億56百万円となりました。

2. 写真材料及び記録材料

写真材料につきましては、デジタル化の影響はさらに進んでおりますが、映画用フィルム材料およびインスタント写真用材料で顧客における需要の回復があり、販売数量、売上高ともに増加いたしました。イメージング材料につきましても、モニター用液晶パネルの需要が堅実に推移したことにより、販売数量、売上高ともに増加いたしました。

記録材料につきましては、プリンター用材料の製造販売が中止となったことにより、売上高が減少いたしました。

この結果、写真材料及び記録材料の売上高は、前連結会計年度比12.0%減の29億4百万円となりました。

3. 医薬中間体

医薬中間体につきましては、既存主力製品の販売数量、売上高は減少しましたが、開発品は、国内顧客および海外顧客向けの試作依頼を順調に受注することができ、販売数量、売上高が増加いたしました。

この結果、医薬中間体の売上高は、前連結会計年度比22.2%増の5億97百万円となりました。

4. その他化成品

架橋剤につきましては、グループ内の原料調達に制限を受けたため繊維改質材用途向けの販売数量、売上高がともに減少いたしました。

この結果、その他化成品の売上高は、前連結会計年度比22.5%減の5億17百万円となりました。

【環境関連事業】

当事業の売上高は、前連結会計年度比7.0%増の15億85百万円となりました。

産業廃棄物処理分野につきましては、廃棄物処理能力が大幅に向上したことに伴い、受託拡大に努めました結果、売上高は増加いたしました。化学品リサイクル分野につきましては、電子部品関連業者からの受託量が減少し、売上高は減少いたしました。

なお、岸和田工場につきましては、平成22年5月より順調に操業しており、平成24年3月末までには大阪工場を閉鎖し、移転を完了する予定にしております。

感光性材料及び印刷材料



写真材料及び記録材料



医薬中間体



その他化成品



環境関連事業



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

(前期比較)

POINT - 1

現金及び預金

設備投資の支払および借入金の返済、社債の償還により減少いたしました。

POINT - 2

有形固定資産

東日本大震災により岩手ケミカル株式会社に建物等の固定資産の損壊、土地の減損損失により減少いたしました。

POINT - 3

短期借入金

1年以内返済予定の長期借入金の返済により減少いたしました。

POINT - 4

社債

償還期限が1年以内となったものを1年以内償還予定の社債に振り替えいたしました。

POINT - 5

利益剰余金

純損失の計上と自己株式の消却により減少いたしました。

科 目	期 別	当 期 平成23年3月31日現在	前 期 平成22年3月31日現在
(資 産 の 部)		15,009	17,967
流 動 資 産		5,582	6,949
1 現金 及 び 預 金		875	1,766
受取手形及び売掛金		2,444	2,528
有 価 証 券		166	286
た な 卸 資 産		1,772	2,055
そ の 他		322	312
固 定 資 産		9,427	11,018
2 有 形 固 定 資 産		7,719	8,976
建 物 及 び 構 築 物		2,593	2,897
機 械 装 置 及 び 運 搬 具		1,778	2,373
土 地		2,991	3,309
そ の 他		355	395
無 形 固 定 資 産		3	6
投 資 そ の 他 の 資 産		1,703	2,035
資 産 合 計		15,009	17,967
(負 債 の 部)		5,861	7,179
流 動 負 債		3,369	3,686
支 払 手 形 及 び 買 掛 金		715	559
3 短 期 借 入 金		542	954
4 1年以内償還予定の社債		999	289
賞 与 引 当 金		223	236
そ の 他		887	1,646
固 定 負 債		2,492	3,492
4 社 債		1,397	1,932
長 期 借 入 金		532	849
そ の 他		563	710
(純 資 産 の 部)		9,148	10,788
株 主 資 本		9,044	10,685
資 本 金		2,901	2,901
資 本 剰 余 金		4,421	4,421
5 利 益 剰 余 金		2,036	4,031
自 己 株 式		△ 314	△ 668
その他の包括利益累計額		91	97
新 株 予 約 権		12	5
負 債 ・ 純 資 産 合 計		15,009	17,967

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	期前 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
1	売上高	12,461	12,340
2	売上原価	11,893	11,650
	売上総利益	567	690
	販売費及び一般管理費	1,426	1,405
	営業損失(△)	△ 858	△ 715
	営業外収益	116	124
	営業外費用	196	184
	経常損失(△)	△ 937	△ 775
3	特別損失	709	83
	税金等調整前当期純損失(△)	△ 1,647	△ 858
	法人税等	△ 61	15
	少数株主損益調整前当期純損失(△)	△ 1,586	—
	当期純損失(△)	△ 1,586	△ 874

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(前期比較)

POINT - 1

売上高

主に化成事業の「感光性材料及び印刷材料」・「医薬中間体」および環境関連事業が増収となりました。

POINT - 2

売上原価

環境関連事業における岸和田工場の減価償却費の発生により増加いたしました。

POINT - 3

特別損失

主に東日本大震災による災害損失の計上および環境関連事業において岸和田工場稼働による大阪工場の工場移転費用を計上したことにより増加いたしました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	期前 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
1	営業活動によるキャッシュ・フロー	861	1,389
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,090	△ 1,488
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 754	△ 299
	現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 26	△ 13
	現金及び現金同等物の増減額	△ 1,010	△ 412
	現金及び現金同等物の期首残高	2,052	2,465
	現金及び現金同等物の期末残高	1,042	2,052

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(前期比較)

POINT - 1

営業活動によるキャッシュ・フロー

純損失の増加により減少いたしました。

POINT - 2

投資活動によるキャッシュ・フロー

設備投資の減少により増加いたしました。

POINT - 3

財務活動によるキャッシュ・フロー

主に長期借入金の返済および社債の償還により減少いたしました。

当社ホームページにて決算情報等がご覧いただけます。

<http://www.daitochemix.co.jp/corp/corp/profil/profil.htm>

東日本大震災に際しての御礼

本年3月11日に発生いたしました東日本大震災により、連結子会社である岩手ケミカル株式会社の被災に際しましては、多くの皆様より励ましやお見舞を賜り、厚く御礼申し上げます。

株主の皆様にご心配をおかけしておりますが、同社がもつ製品群の一部の製造をグループ会社内で吸収し、顧客への供給を継続させるなど、適宜対応を行っております。

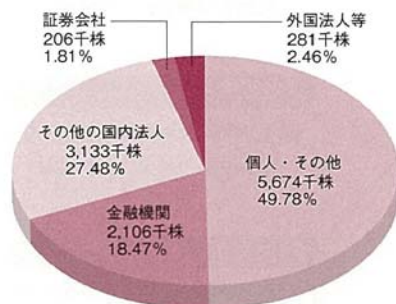
このたびの皆様のご支援に対しまして重ねて厚く御礼申し上げます。

株式の状況 (平成23年3月31日現在)

株式総数・株主数

発行可能株式総数	47,900,000株
発行済株式の総数	11,400,000株
株主数	994名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数	持株比率
東京応化工業株式会社	522 千株	4.77 %
ダイソーケミックス社員持株会	499	4.56
日本生命保険相互会社	499	4.56
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	482	4.40
竹 中 一 雄	475	4.34
富士フイルム株式会社	439	4.01
株式会社三井住友銀行	371	3.39
住友商事株式会社	336	3.07
農 林 中 央 金 庫	247	2.26
日本精化株式会社	201	1.84

(注) 持株比率は、発行済の普通株式の総数から自己株式444,193株を除いて計算しております。

会社の概況 (平成23年6月23日現在)

概要

商 号 ダイソーケミックス株式会社
(英文名：Daito Chemix Corporation)

本社所在地 〒538-0031
大阪市鶴見区茨田大宮三丁目1番7号
電話 06 (6911) 9310 (代表)

設 立 昭和24年12月2日

資 本 金 2,901,163,150円

社 員 数 237名

主な営業品目 感光性材料、印刷材料、写真材料、
記録材料、医薬中間体、その他化成品

役員

〈取締役〉

代表取締役	二	宮	榮	規
取締役	新	木	隆	雄
取締役	永	松	真	一
取締役	根	津	欽	一郎

〈監査役〉

常勤監査役	入	岡	修	一
監査役	草	尾	光	一
監査役	飯	田	健	一

〈執行役員〉

執行役員社長	二	宮	榮	規
常務執行役員	新	木	隆	雄
執行役員	永	松	真	一
執行役員	根	津	欽	一郎
執行役員	福	村	俊	郎
執行役員	永	田	晃	司
執行役員	山	田	基	昭

事業所

東京オフィス 〒103-0013
東京都中央区日本橋人形町二丁目15番1号
電話 03 (3669) 0261

技術開発センター 〒574-0044
大阪府大東市諸福八丁目3番11号
電話 06 (6911) 1271

静岡工場 〒437-1424
静岡県掛川市浜野3110
電話 0537 (72) 2888

福井工場 〒910-3137
福井県福井市石橋町31字118
電話 0776 (85) 1841

グループ会社

日本エコロジー株式会社

〒534-0025 大阪市都島区片町二丁目2-40大発ビル
電話 06 (6881) 0251
(産業廃棄物の処理および化学品のリサイクル)

ディー・エス・エス株式会社

〒538-0031 大阪市鶴見区茨田大宮三丁目1番7号
電話 06 (6911) 1559
(製造・物流・事務等の業務請負、人材派遣)

岩手ケミカル株式会社

〒028-1113 岩手県上閉伊郡大槌町須賀町2番2号
電話 0193 (42) 7221
(感光性材料用原料、食品添加物、その他化成品の製造販売)

DAITO CHEMIX(CHINA) CO., LTD

〒318020 中国浙江省台州市黄岩区黄岩経済開発区軽化投資区永椒路
電話 +86-576-8416-7115
(感光性材料用原料、その他化成品の製造販売)

DAITO-KISCO Corporation

〒404-220 韓国仁川広域市西区石南洞223-48
電話 +82-32-584-4646
(感光性材料の製造販売)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	
定時株主総会	毎年3月31日
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
公告方法	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 電子公告 公告掲載アドレス http://www.daitochemix.co.jp/corp/corp/profil/profil.htm ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) (インターネット ホームページアドレス)	0120-176-417 (フリーダイヤル) http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
当社インターネット ホームページアドレス	http://www.daitochemix.co.jp
上場証券取引所	株式会社大阪証券取引所 市場第2部
証券コード	4366

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。
証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



DAITO CHEMIX

ダイトケミックス株式会社

<http://www.daitochemix.co.jp>